



これから10年の都市づくりの基本的な方針

# 都市計画マスタープランを見直しました

市では、平成23年度から、都市計画マスタープランの見直し作業を進めてきましたが、この度、改訂版を策定しましたので、概要をお知らせします。

## 都市計画マスタープランって何？

将来の市街地の規模や土地利用、道路・公園などの都市施設の配置など、今後の都市づくりの基本的な方針を定めたものです。

主に都市全体の方針である「全体構想」と地域ごとの方針である「地域別構想」の2つで構成しています。

## どうして見直すの？

現行計画の策定から約10年が経過し、その間、人口減少

や急速な高齢化など、社会経済情勢が変化し、これらへの対応が必要なことから、今年度からスタートする新しい総合計画（「えべつ未来づくりビジョン」へ第6次江別市総合計画）に合わせて見直しを行いました。

## 計画期間は？

新しい総合計画と同様に計画期間を今年度から10年間としています。今回の見直しでは、長期的な都市づくりの視点から計画期間以降の都市の姿も見据えながら、改定しま

## 全体構想

人口減少や少子高齢化、環境・防災意識の高まりなど、都市を取り巻く状況の変化に対応するため、これからはより成熟した都市づくりが求められています。

全体構想では、効率的な都市運営と安全な都市環境、活力と魅力ある都市をめざすために、現在の都市構造を活かしながら、市街地の質を高めていきます。また、市街地とその周辺部

## 「全体構想」～都市づくりの目標・基本方針～

### 1. 駅を中心とした集約型都市構造 ～えべつ版コンパクトなまちづくり～

駅を中心とする拠点と他の地域と有機的な連携を図り、江別市の特性や歴史を活用しながら持続的な発展を確保する質の高い都市づくりを進めます。

- 「効率的な都市運営」・「拠点のにぎわいの向上」・「環境負荷の軽減」・「公共交通のネットワーク化」など

### 2. 地域経済の活性化

活力・魅力を伴った持続性のある都市をめざすため、産業振興に資する土地利用等を戦略的・政策的に進めます。

- 「企業立地の推進」・「食関連産業の誘致」・「インターチェンジ周辺などの土地利用検討」など

### 3. 災害に強い安全・安心な都市環境

過去の水害や東日本大震災後の防災意識の高まりを受け、災害に強い都市施設や防災体制の充実を進めます。

- 「都市施設等の防災対策」・「一時避難所の適正配置」・「災害用備蓄機能の充実」など

### 4. 江別市の特性を活かした魅力ある都市

暮らしやすい良好な住環境の形成や利便性の向上、都市機能等の充実に加え、江別市の特性を活かした都市づくりを進めます。

- 文化、自然環境、大学、農業、インターチェンジなど、地域資源や優位性を活かした都市づくり

